USA All Star Challenge Competition 2018 EAST/WEST

＜演技規定＞ Mini編成/Youth編成/Mix編成　Pom Prep部門

この部門は技術の習得段階にあるチームに向けた位置づけとし、ダンステクニック・スキルの実施制限を設けるものとする （夏の大会のみの実施）

項　目	内容
演技時間	1分30秒以上　2分00秒　以内
衣　　装	自由とするが、年齢に相応で全ての観客に対し適切な衣装とメイクを心がけること
アクセサリー	衣装としてのアクセサリーは認める （肌や床を傷つける危険があるものは不可）
履　　物	足裏全部を覆っている物を着用 （靴下やタイツのみは禁止 ・ 床を傷つける危険があるものは不可）
手具・大道具	演技時間の80%以上はメンバー全員でPomを使用すること ※【補足】①参照 ／ Pom以外の小道具・大道具は使用不可
構　　成	同調性と視覚的効果、美しく正確なアームモーション、Pomを使用した技術、ダンスの技術的要素が求められる （視覚的効果とは：立体的変化・グループワーク・フォーメーションチェンジ・異なる色のPomの使用など）
セーフティ 全　　般	① 安全性を考慮していない危険な行為、フロアを傷つける恐れのある行為は禁止 ② Pom・衣装・その他アクセサリー・装飾品は演技中に落下しないように配慮しなければならない ③ 怪我等の事情で、硬く曲がらない・表面に凹凸があるギプス・コルセットなどをする際は適切な素材でカバーすること ④ 手に全体重をあずける動作は、何も持っていない状態で実施しなければならない（例外：前転・後転） ⑤ 立位・逆さの体勢やターンから、膝・腿・座位・うつぶせ・仰向け・スプリットポジションの姿勢になる場合は、少なくとも片手または片足に先に体重が乗るように行うこと ⑥ ジャンプ・空中から演技フロアへ着地する場合は、少なくとも片足に先に体重が乗るように行うこと 但し、ジャンプ・空中に浮いた際の手の位置が腰レベルより下の場合に限り、 手（片手含む）からの着地が可能。後方への進入は不可。（ダブルシフトは実施可。シュシュノバのバリエーションは全て禁止）
ダンス テクニック ・スキルの 実施制限	項目 ターン：・ステーショナリーターン（※【補足②】）及びピケターンは、1回転までとし、脚のポジションはパッセ・クッペ・ペンシルのみとする（例：ダブルピルエット不可） ・ステーショナリーターン実施の際は、軸足は回転が完成するまで床の上にあること（アクセルターンは実施不可） ・フェッテターンの実施は不可 ・シェネターンは4カウントまでを1回と計測する 項目 リープ・ジャンプ：・プレパレーション/アプローチから実施が終わるまで回転動作が含まれないこと （例：カリプソなどは不可） ・踏込みから身体のポジション・向き・脚のポジションが変わらないこと （例：スイッチリープなどは不可） 項目 複合スキル：直立姿勢における1回転までの回転動作は実施可（例：フルターンジャンプ、ソデバスクなど）/回転からのロンドジャンプは不可 項目 その他：レッグホールド（持つ位置は不問・脚のポジションを変えることはできない　例：フロントからY字などは不可） ※テクニック・スキルの連続実施は、同一項目内で2連続まで可（例：「ジャンプ＋リープ」「ターン＋ターン」など） ※他項目との連続実施は不可 <<連続実施の定義>> 1つ目と2つ目のテクニック・スキルが1歩以内に行われている場合（着地は含めない）　但し、2カウント以上カウントが空く場合は連続とは見なさない
タンブリング 個人で 実施するもの	タンブリング（アクロバティック、体操的な技。フロア上から始まりフロア上で終わる個人で行えるもの）は、**実施できるが推奨されない** ＜有効技＞に限り実施可（以下①～③を遵守しなければならない） ① 静止・歩行から実施可 （走り込み・飛び込み・ホップなど勢いをつけてからは不可） ② タンブリングは単発・コンビネーションともに実施可 ③ タンブリングをしている選手の上や下を、タンブリングしながら通過・越えることは禁止 **＜有効技＞** 前転、後転、ショルダーロール、側転、チェストロールダウン ※有効技は片手での実施も可 ※Pomを持った手に全体重をあずける動作は、セーフティ違反になるので注意（前転・後転は持ったまま実施可） **＜禁止技＞**上記以外全て ※【補足】③参照
ダンスリフト パートナーリング グループ/ペアで 実施するもの	① 演技フロアに体の一部が触れている状態で、人に体重を預ける・寄りかかるなどは実施可 ② ダンスリフトの実施不可 （他者を持ち上げる・下ろす、または他者に持ち上げられる・下ろされる動作） ③ 人に体重をかけて演技フロアから完全に離れる行為（馬とび・背中を転がる・人の上に乗るなど）は、 下記の条件を満たしている場合のみ実施可 a. 補助されず自力で行う事 b. フロアから離れた状態で、動きを止めない事（人にしがみついたまま、乗ったままの状態などは不可） c. 演技フロアに着地するまで体重をかけている相手と触れ続ける事 ※Pomを持った手に全体重をあずける動作は、セーフティ違反になるので注意

【 補 足 】		
	①Pomの使用時間について・・・	1名でもPomをおいた場合は、手具を持っていない時間・カウントとして数えられる （但し、片方だけ置き、片方は使用している場合は手具を持っているとみなす）
	②ステーショナリーターンとは・・・	軸足が床の表面に固定されて動かないピルエットターン （シェネ、ピケなどはステーショナリーターンに含まれない）
	③タンブリング禁止技について・・・	有効技以外の全てのアクロバティック・体操的な技 ＜例＞ 倒立、立ちブリッジ、頭支持倒立、前方/後方転回、飛び込み前転、ロンダード、 前方・後方倒立回転跳び、前方・後方宙返り、側方宙返り、ヘッドスプリングなど